

新那賀川橋（仮称）の上部工事が最盛期！
～四国横断自動車道 阿南～小松島間で最初の上部工～

【ポイント】

- ・平成21年11月より工事を着手している四国横断自動車道（阿南～小松島間）新那賀川橋（仮称）の工事が、これから**最盛期**に入ります。
- ・工事には、「張出し架設工法」を採用しており、工事が進むにつれ、「やじろべい」を連想させてくれます。



【概要】

- ・工事名：平成21～23年度 新那賀川橋上部工事
- ・工期：2009年8月20日～2011年7月29日
- ・工事場所：阿南市羽ノ浦町～下大野町（「別紙-1」参照）
- ・橋種：3径間連続PC箱桁橋
- ・橋長：339m
- ・工法：張出し架設工法（施工手順は「別紙-2」参照）

国土交通省 四国地方整備局
徳島河川国道事務所

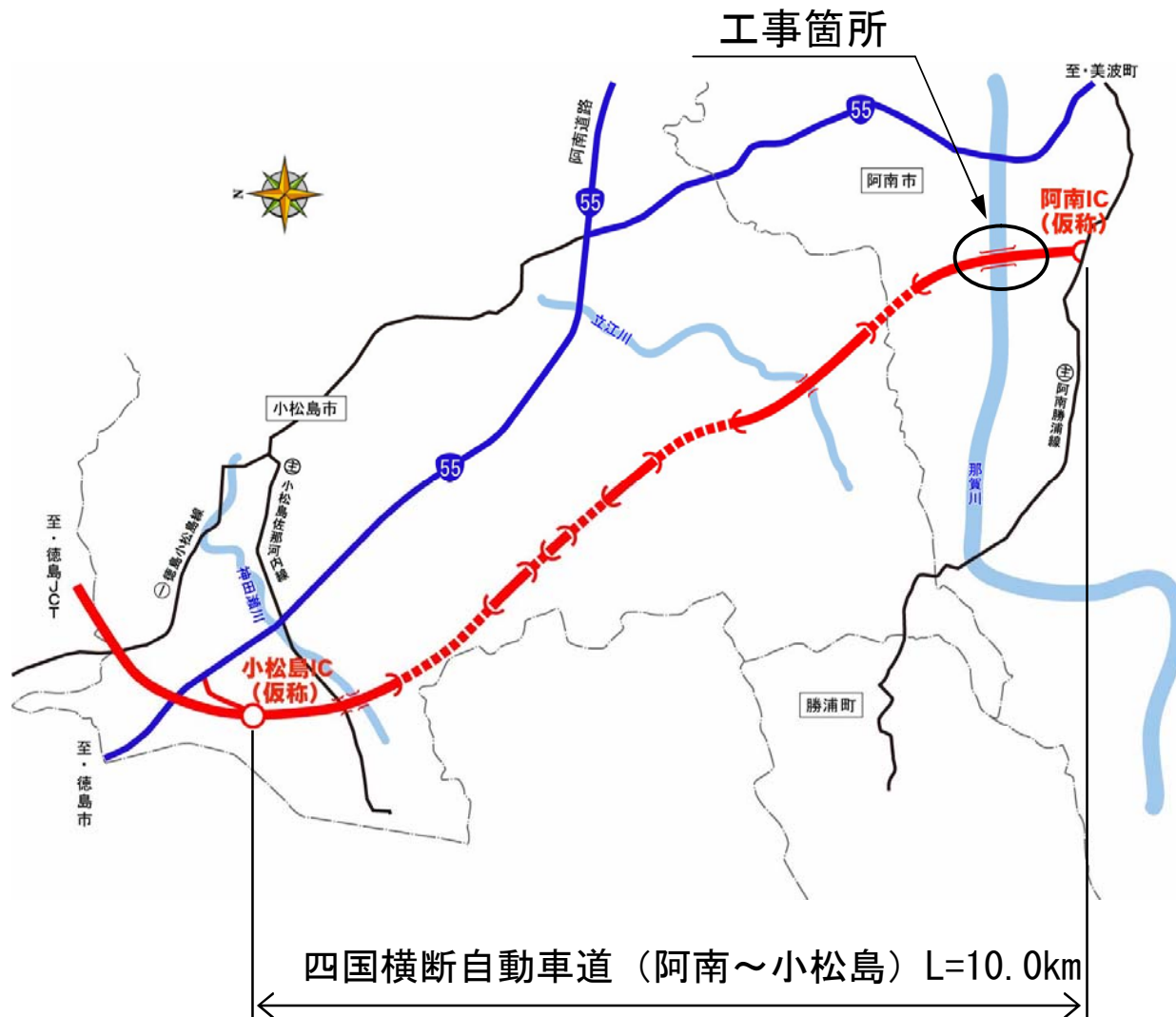
本施策は、四国圏広域地方計画「NO.5圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」の取組みに関連します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所
TEL：088-654-2211（代表） TEL：088-654-9162（直通）
副所長（道路） 上林 正幸 内線205
◎工務第二課長 渡辺 修身 内線411
◎：主たる問い合わせ先

位置図及び事業概要

別紙-1



【事業概要】

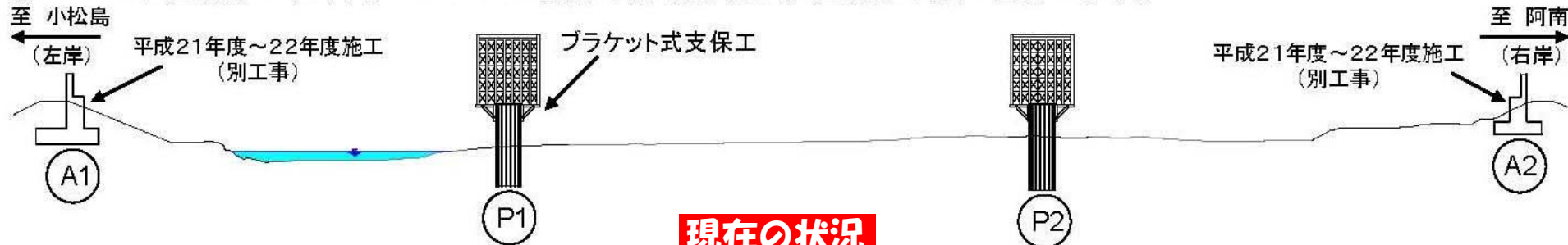
四国横断自動車道は、阿南市を起点に、徳島市、高松市を経て四国中央市において四国縦貫自動車道と交差し、高知市、四万十市を経て大洲市に至る延長約440kmの路線である。この路線は、「四国8の字ネットワーク」の大部分を占め、四国における信頼性の高い道路ネットワークの確保や地域の閉塞感の解消など、広域交流と地域の「安心」と「活力」を支える重要な路線である。

阿南～小松島間は、新直轄方式により整備される区間であり、高速ネットワークの空白地帯解消のために計画されている地域高規格道路「阿南安芸自動車道」と相まって、四国東南部の発展に重要な役割を果たすことが期待されている延長約10kmの区間である。

※新直轄方式とは、道路関係四公団の民営化後の新たな会社による高速自動車国道の整備の補完措置として、必要な高速自動車国道を建設するため、国と地方の負担(国:地方=3:1)により国土交通大臣が整備する方式である。対象路線は、料金収入により管理費を賄えない路線、または地元公共団体が強くこの方式による整備を望む路線・区間であり、通行に際して料金を徴収しない。

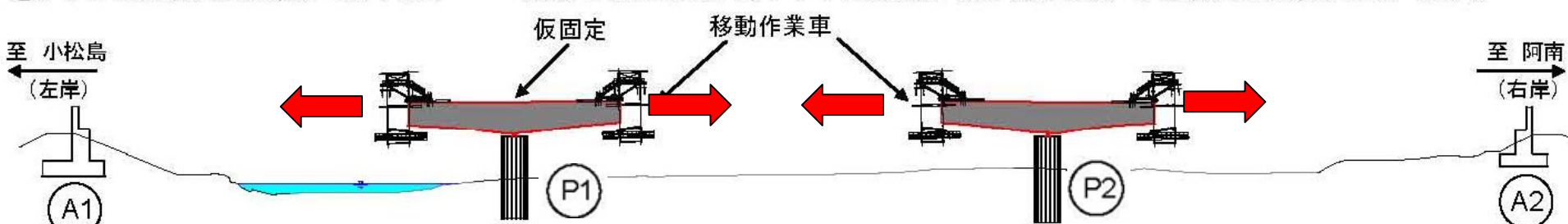
■施工手順

①P1・P2の柱頭部工(6ヶ月) - P1・P2橋脚の脚頭部および柱頭部の施工を行います。



現在の状況

②P1・P2の張出し架設工(8ヶ月) - 移動作業車により、P1・P2橋脚から外側に向かって張出し架設を行います。



本橋梁は、移動作業車(ワーゲン)を用い、橋脚を中心にして“やじろべい”のように左右のバランスを取りながら橋を架ける「張出し架設工法」を採用しております。

③中央閉合工, A1・A2側径間工, 完成(6ヶ月) - 中央閉合, A1, A2側径間の順に主桁を連結します。

